



『あいさつと信頼の目』

この一年、「あいさつをしよう」ということについて、町内の各園校で取り組まれてきました。

近年、富中では、ことさらに「あいさつしよう」と呼びかけたわけでもないのに、生徒たちはずいぶんと明るく気持ちのいいあいさつができています。学校の職員や地域の人に対しても、もちろんよくできるのですが、外部からやってこられたお客さんに対しても、同様に大きな声でさわやかにあいさつができています。

しばしは、これらのお客さんたちは、用件の合間に校長室で、「こちらの生徒さんは、中学生にしてはびっくりするほど、素敵なあいさつができるんですね。」というふうに、ちよつと驚きながら富中の生徒をほめてくださいます。

こんな機会をとらえて、月曜日の朝の全校集会などの場で、本校の校長先生はすぐにそのお客さんの言葉を紹介してくださいます。何回でも、機会があるたびにです。

すると、生徒たちも自信を持て、ますます素敵なあいさつを心がけるようになっていっていると思います。こんなことから、子どもとおとなのお互いの信頼感は深まっているように感じます。

私は七年間この富中学校に勤務してまいりましたが、富の子どもたちは、本当におとなをよく信頼してくれているなあと、いつも感じてきました。あいさつをしてくれる時の子どもたちの目は、いつもそんな信頼の目です。その根底にあるものは、生まれてから今日までに、彼ら・彼女らが出会ったおとなたちが、その信頼に一生懸命答えて続けたことのおかげなのだろうと思います。ご家族、地域の方々、保育園・小学校の方々と、子どもたちがあいさつを交わしているようすが目に浮かびます。私たちも、まずは、子どもたちから信頼されるおとなでありたいと思います。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

富中学校 高階 哲雄

のびのびひろば

みんなで作ったおひなさま



ひなまつり会
たのしかったよ！



春の訪れのおそい奥津地区では、4月3日に月遅れのひな祭りをする家庭がほとんどですが、奥津保育園では3月3日に園児の家族を招いて恒例のひなまつり会を行いました。

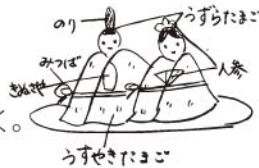
子ども達が工夫を凝らした手作りのおひなさまの前で、オープニングに『うれしいひなまつり』を歌い、クラスごとに歌や合奏を披露する等、楽しいひとときを過ごしました。

ひなずし

ひなずしの作り方

1. あらかじめ五目寿司を作っておく。
2. フライパンで薄焼き卵を作る。
3. 寿司ご飯を2個三角おむすびにする。
4. 薄焼き卵を、半分に切り2個のおむすびに、着物のように巻く。
5. うずら卵を2個ゆでて、それぞれ男雛女雛の顔にする。
6. 人参やきぬさや等で飾り付けをする。

※蛤のおすまし、わけぎのぬた等と一緒にいただく。



奥津保育園

